



# ヒトGPCRの構造解析

～構造情報をもとにした薬剤開発に向けて～

従

構造解析には大量のタンパク質サンプルや安定なタンパク質サンプルが得ることが必須であった。

開

理論計算法による迅速な変異体作製により、これまでより迅速な構造解析が可能になった。

機能

創薬

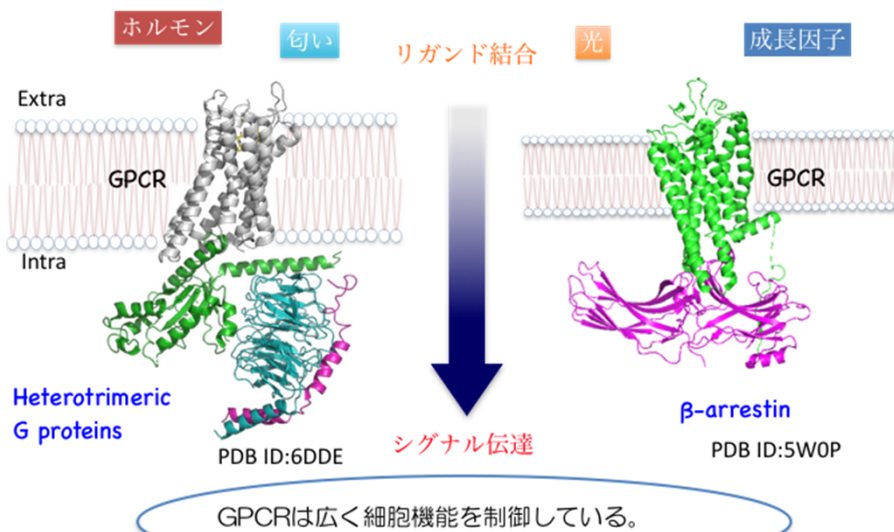
狙

GPCRのシグナル伝達機構を明らかにし、疾病の原因を解明する。

構造情報をもとにして、特定のシグナルを伝達する薬剤を開発する。

## ■ 様々な反応状態のGPCRの構造情報をもとにした創薬に向けて

### GPCRシグナル伝達



X線結晶構造解析やクライオ電子顕微鏡による単粒子解析により、不活性型やシグナル伝達因子—GPCR複合体の構造解析を行い、それぞれの状態に適した薬剤開発に重要な知見を提供する。

〈問い合わせ先〉

産学連携知的財産統括室 佐々木健一 sasakikn@hirakata.kmu.ac.jp 溝上大樹 mizoued@hirakata.kmu.ac.jp

〈研究内容に関して〉

医化学講座 講師 寿野 良二 sunory@Hirakata.kmu.ac.jp